栃診放技　第 82 号
令和 8 年 11 月 16 日

会員各位

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
会長　吉成 亀蔵
【公印省略】

第 21 回 栃木県診療放射線技師会
学術研究発表会 演題募集のご案内

令和 9 年 3 月 7 日（日）、栃木県総合文化センター 特別会議室にて、第 21 回栃木県診療放射線技師会 学術研究発表会を開催いたします。
会員の皆様には、積極的に研究成果をご発表いただきたく、下記の要領にて演題を募集いたします。

記

■ 開催概要

- **開催日**　：令和 9 年 3 月 7 日（日）
- **会場**　：栃木県総合文化センター 特別会議室
- **発表者要件**　：発表者および共同発表者は栃木県診療放射線技師会会員に限ります。
  ※学部生およびその指導教員は、会員でなくても共同発表者として登録可
- **内容**　：演題名、施設名、発表者(フリガナ)、共同発表者名（5 名まで）、
  発表区分、分類を明記して下さい。
  （発表区分：☐ 一般演題　☐ 実践報告：ハンズオンセミナー報告）
- **申込方法**　：Microsoft Forms にてお申し込みください
  URL：https://forms.cloud.microsoft/r/9WTF0kJBky



- **募集期間**　：令和 8 年 11 月 20 日（金）～令和 8 年 12 月 20 日（日）
- **抄録提出期限**　：令和 9 年 1 月 13 日（水）
  ※抄録書式は登録後に発表者へご案内いたします。

■発表区分：一般演題

- **発表形式**　：PC による口述発表（発表時間 7 分、質疑応答 3 分）
- **分類**　：一般撮影・マンモグラフィ・CT・MRI・血管撮影・X 線 TV／透視
  放射線治療・RI（PET）・放射線管理・医療画像・教育・その他

■ **発表区分：実践報告（2026 年度ハンズオンセミナー受講生）**

「自施設における画像評価の実践報告」～学術支援ハンズオンセミナー受講後の取り組み～

学術支援ハンズオンセミナーで学んだ内容を、自施設で実践した取り組みについてご報告いただく発表区分です。

例えば、ImageJ を用いた CNR 測定やラインプロファイル解析、DR measure や CT measure の活用など、「セミナーで学んだ内容を自施設で試してみた」「実際に取り組んでみて感じたことや工夫した点を共有したい」といった復習的・実践的な内容でも歓迎いたします。

研究として完成された内容である必要はありません。まずは学んだことを実践し、その経験や成果、課題を共有していただくことを目的としています。

- **発表形式**　：PC による口述発表（発表時間 5 分、質疑応答・アドバイス 3 分）
  ※演題数により発表時間を変更する場合があります。
- **分類**　：DR（マンモグラフィ、血管撮影、X 線 TV／透視**などを含む**）・CT・MR
- **備考**　：ハンズオンセミナーに参加した方が対象。卒後教育講座には参加したが、ハンズオンセミナーには参加できなかった方で、発表を希望される場合はご相談ください。

「まずはやってみた」を共有する発表区分です。セミナーで学んだ知識や技術を自施設で実践した結果や工夫、気づきなどを、ぜひお気軽にご発表ください。

■ **発表に関する注意事項**

- 発表は技師会指定の PC にて行っていただきます。USB メモリにてご準備ください。
- 会場 PC 環境：Windows 11、Microsoft PowerPoint for Microsoft 365
- 動画使用時は会場にて動作をご確認ください。また、PowerPoint ファイルとは別に、動画ファイルをご用意ください。
- Macintosh は動作保証外のため、持参 PC にてご自身の責任で操作をお願いします。
- 会場のプロジェクターは 4:3 で投影します。**スライドは 4:3 サイズで作成**してください。PC 操作は演者自身で壇上にて行ってください。

■ **倫理審査に関する要件（※新設）**

- 発表内容に患者情報や臨床データを含む場合は、所属施設の倫理審査委員会等の承認を得たうえでご発表ください。
- 個人が特定される情報（氏名、ID、顔写真など）は、必ず匿名化・加工処理を行い、個人情報保護に十分ご配慮ください。
- 倫理審査が不要な場合でも、その理由を明確にしておくことを推奨いたします。

■ **お問い合わせ**

栃木県診療放射線技師会 学術部
メールアドレス：t-gaku@tartnet.com

以上